

ラパスの便り

鳥取大学メキシコ海外実践教育カリキュラム

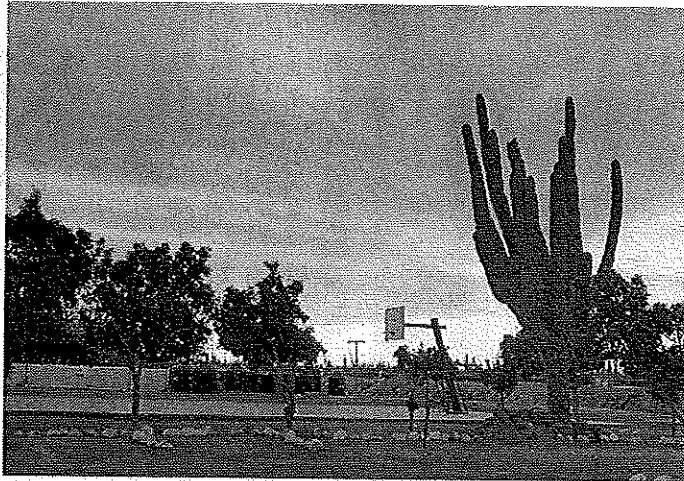
～7～

「メキシコ海外実践して語学習得の面で教育カリキュラム」が、も、学生にとっては極大な成果を上げて無めて新鮮で驚きの連続事終了した。修了式であり、魅力的なものは感動と満足感が会場であった。

内に満ちあふれ、学生・教職員の笑顔が輝いた。教育の内容はメキシコの社会、文化、スポーツとともに、水、土

メキシコ・ラパスの壤、微生物、植物、動物、自然を生かしたこの実物、生態環境、海洋、実践教育は、メキシコのエネルギー等、広範囲学生も参加して、国際に及んでいる。現地調査や異文化体験、そ

異文化体験、新鮮で驚きの連続



夕日に映える巨大なサボテン

まとめて発表した。授業は英語だ。学生によるプレゼンテーションも行われた。わずか三カ月の短期間であったが、語学力の上達と自立心の形成には目を見張るものがあった。異環境の中でこの前向きな学習が学生を大きく変える契機になることが実感された。

学生にとっても、何事にも積極的に取り組むことで「自分自身が大きな可能性を持った存在」になれることを認識できたようだ。社

会の中で自ら体験する教育が、これからますます重要になってくる。ラパスは強烈に照りつける太陽と青い空と乾燥気候であり、湿潤気候の日本とはあらゆる点から、この教育は注目されていて、鳥取大学もメキシコ側も今後さらに発展させたいと考えている。来年が楽しみである。

(鳥取大学理事・副学長 本名俊正)

(おわり)